

2023 年度
(第 12 期)

事業報告

自 2023 年 10 月 1 日

至 2024 年 9 月 30 日

一般財団法人 YS 市庭コミュニティー財団

事業報告

第12期目となりました当財団の助成事業ですが、今回も対象地域を全国としました。日本各地で精力的に活動するNPO法人、団体等からご応募頂き感謝をしています。

ここに今期の事業報告をさせて頂きたいと存じます。

- ・応募書類受付期間：2023年6月10日(土)～7月31日(月)
- 選考委員会：2023年8月25日(金) 13時より
- 於：太陽グラントソントン税理士法人 会議室
- ・採択通知：2023年9月30日(月)

1 助成事業

1) コミュニティー振興及びまちづくりに関する事業

No.	団体名	事業名	助成金額
1	特定非営利活動法人子ども文化コミュニティ 代表者 森 裕	出前します「こんにちは！絵本図書室」	300,000 円
2	「鹿野の風」プロジェクト 代表者 福田 清治	「里山まるごと花と雑木による木漏れ日計画」	500,000 円
3	NPO 法人アクションポート横浜 代表者 高城 芳之	横浜アクションアワード2023	500,000 円
4	環境色彩学研究会 代表者 牧野 暁世	地域資源色を活用したシチズンサイエンスによるコミュニティ再生プログラム	490,000 円
5	NPO 法人元酒蔵の歴史的建造物群を保存・活用する会 代表者 庄司 恵雄	小さな「できる」は地域を大きくつなぐプロジェクト～みんなの勉強室・食堂とみんなの力で～	500,000 円
6	特定非営利活動法人びーのびーの 代表者 奥山 千鶴子	GOGO ひよし ～子どもたちの午後の居場所～	800,000 円
7	認定 NPO 法人彩の子ネットワーク 代表者 関 昌美	母親発「子育てたいへんアンケート」事業—だれもが孤立しない「みんなで子育て」コミュニティづくりに向けて	300,000 円
8	特定非営利活動法人シャブラニール＝市民による海外協力の会 代表者 坂口 和隆	在住外国人と地域とがつながる多文化コミュニティスペースづくり	310,000 円
9	特定非営利活動法人地球対話ラボ 代表者 森 透	気仙沼とインドネシアのつながりを生かして外国人が参画するコミュニティをめざす事業・第4期	1,590,000 円
10	特定非営利活動法人音まち計画 代表者 岡部 修二	こもごも団の「ラジオ演劇」こもラジ!	990,000 円
11	G 音楽たい 代表者 土持 真一郎	地域の子ども達のための「ごかせ吹奏楽倶楽部」創設	400,000 円
12	高千穂町吹奏楽連合会【tzedakah】 代表者 田端 歩	地元災害復興支援音楽交流活動	400,000 円
13	特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ 代表者 江本 一男	農都交流が創出する関係人口10倍増プロジェクト	500,000 円

14	シメサイ実行委員会 代表者 実行委員長 菅原 太	志免祭 国際コメディシアターフェスティバル 2024	750,000 円
合計 (14 件)			8,330,000 円

2) 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

No.	団体名	事業名	助成金額
1	特定非営利活動法人 うきま.jp 代表者 佐藤加代子	地域の取材を行い SNS で公開する。防災イベントを行い防災意識を高めてもらう	500,000 円
2	一般社団法人北海道フロアボール普及プロジェクト 代表者 梅田 弘胤	教育大学生にコミュニティスポーツを啓蒙する試み	300,000 円
3	いのちのおはなし岡山 代表者 宇野 香織	こどもたちへ「いきるちから」を伝えよう	400,000 円
4	特定非営利活動法人 陽向ぼっこ 代表者 儀同 一義	小さな漁港の町に誰もが気軽に立ち寄れるコミュニティカフェを作りたい	350,000 円
5	つるがや元気会 代表者 菅原 敏之	大震災に負けず再び明るく元気な鶴ヶ谷を！～50 年先を見据えたコミュニティとまちづくり～	400,000 円
6	つちうら駄菓子屋楽校 代表者 石原 之壽	子ども広場（秋・春）と平和学習（音楽劇ヒロシマ・平和紙芝居）	500,000 円
7	つくば少年少女スポーツ障害予防研究会 代表者 岡本 嘉一	学童スポーツ選手障害予防についての啓蒙と予防活動。	320,000 円
8	特定非営利活動法人 RCB 大口夢 代表者 平田 誠	学習支援事業（TABIMA にじいろ広場）	200,000 円
9	NPO 法人 ゆめ希望 代表者 加藤 完二	豪雪地域におけるネガティブ払しょく事業	200,000 円
10	西荻てつがく対話の会 代表者 種岡 祐子	映画と体験で広がる！はじめての哲学対話	350,000 円
11	特定非営利活動法人日本語教育ネットワーク 代表者 藤長 晴栄	「ワカモノ多文化日本語ボランティア」育成事業	200,000 円
12	一般社団法人エス・プレイス 代表者 井上 尚子	アートを楽しむインクルーシブな場づくり～スペシャル・アート・ファクトリー～	160,000 円
13	特定非営利活動法人 Cafe de 寺子屋 代表者 樫本 和音	カフェで寺子屋。地域の子どもたちの学びの場を全国に！	400,000 円
14	一般社団法人宇和島 SDGs 社会教育事業団 代表者 霜村 一郎	障がい者貝絵アート展示会・コンテスト	400,000 円
15	じもとの学び舎プロジェクト 代表者 松田 誠一	地域コミュニティの交流と支え合い	300,000 円
16	自主夜間学校いいあす京都 代表者 川端 宏幸	自主夜間学校運営：義務教育未修了者、不登校児童生徒、義務教育形式卒業者の学び直し、在日外国人の日本語の習得のための学びの場として、教育のセーフティネットをつくる	350,000 円
合計 (16 件)			5,330,000 円

3) 防災講座・防災シミュレーション体験講座・お料理体験講座の開催助成

No.	団体名	事業名	助成金額
1	公益社団法人日本非常食推進機構 代表者 理事長 古谷 賢治	防災食のアレンジメニュー開発 (防災食リメイク弁当レシピアワード)	700,000 円
2	NPO 法人トッピングイースト 代表者 清宮 陵一	隅田川回向	800,000 円
3	一般社団法人三陸&東海防災フォーラム 伝 代表者 松本 大	三陸&東海発 防災活動を通じた人づくり事業—震災の記憶を語り継ぎ、生き抜く力を身に付ける場づくりを通して—	290,000 円
合計 (3 件)			1,790,000 円

4) 体験学習（職場体験）に関する事業の助成

No.	団体名	事業名	助成金額
1	特定非営利活動法人スクール・アドバイ ス・ネットワーク 代表者 生重 幸恵	小中高校生のための「伊藤研修センター」 の特徴を生かした【施設訪問型体験学習】 の推進、及び【教材提供型プログラム】の 推進事業	1,150,000 円
合計 (1 件)			1,150,000 円

2 知の冒険事業

1) 「お持ち込み講演会」

講演主旨、内容にふさわしいベストな形でお客様に聴いて頂きたいと考えております。
また、講演会講師、テーマ主旨、会場地域等は、当財団のホームページに今後掲載する予定です。

2) 当財団が考えるコミュニティー事業

助成団体が考える社会的な課題を解く為の事業を共に考え解決策を試行する取り組みを考えています。

No.	団体名	事業名	助成金額
1	一般社団法人清水沢プロジェクト 代表者 佐藤 真奈美	地域の記憶をまちづくりの糧にする 清水沢エコミュージアムプロジェクト	400,000 円
2	一般社団法人 One Smile Foundation 代表者 辻 早紀	笑顔寄付プロジェクトにおける「スポーツ をユースケースとした寄付原資、自動獲得 モデル創出」事業	600,000 円
3	ドリーム・シード・プロジェクト 代表者 工藤 時広	高校生のためのゲーミフィケーションによ る地域課題解決力向上プログラム	990,000 円
合計 (3 件)			1,990,000 円

3 2023 年度助成金合計

No.	助成カテゴリー	助成件数	助成金額
1)	コミュニティー復興、再構築に関する事業	14 件	8,330,000 円
2)	社会教育&スポーツ	16 件	5,330,000 円
3)	防災関連&お料理体験講座	3 件	1,790,000 円
4)	体験学習	1 件	1,150,000 円
5)	知の冒険事業	3 件	1,990,000 円
合計		37 件	18,590,000 円

採択された助成事業はそれぞれ地域を代表する事業であり、地域のコミュニティーに与える影響力が大きな活動となっています。

日々の暮らしに寄与するNPO法人、団体の存在は地域の財産とも考えますので、当財団としても多角的な視野を持って地域事業を応援してゆくつもりです。

本年度 助成総額 合計 18,590,000 円 (37 件)

※2023 年度のコミュニティー振興及びまちづくりに関する事業にて採択されたせんだいわらアート実行委員会の助成事業は、事業実施不可のため助成中止（630,000 円）となりました。そのため、当初は助成採択総額 19,220,000 円（38 件）の予定でしたが、実際の助成総額は 18,590,000 円（37 件）となりました。

4 2023 年度（2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日）財団・助成先往来記録

1 令和 5 年 10 月 7 日

助成財団センターを通じて、公財）前川報恩会 法堂正宏理事・事務長と打ち合わせ

- ①コロナ以降、NPO の活動量が落ちているのか
- ②助成希望も低調となっているのか

2 令和 5 年 10 月 12 日 相談

公益）社団法人日本非常食推進機構 古高賢治理事長来訪
相談テーマ

- ①「企業備蓄の保存食糧の賞味期限切れに伴う備蓄食料放出について」
廃棄処分を避けるため、再活用の仕組みをつくる～
- ②食品ロス削減と障害者就労支援の 2 本立てで解決できないか
- ①、②を総合して情報活用先を検討する

3 令和 5 年 11 月 11 日 WEB 会議報告

2022 年度助成先 NPO 法人日本生活語学支援機構(宮原睦子代表)

- ①滞在支援者の生活リポート
- ②日本語習得・日本かるたの普及

4 令和 5 年 11 月 13 日 活動報告説明 電話にて

2022 年度助成先 わわわやたべや町民会議（沼尻 渡代表）
創作地域民劇 4 作品制作し、伊賀七住民一座定着とのこと

5 令和 5 年 11 月 23 日 会議

財団評議会・理事会・監事会を书面決議並びに WEB 会議実施（6 名）
2023 年度決算・事業実績、2024 年度決算・事業計画の承諾

6 令和 5 年 11 月 25 日 電話にて

2023 年度助成先 宇和島 SDGs 社会教育事業団（霜村一郎代表）
画材・ヒオウギ貝を同じく助成先のエヌ・プレス（井上尚子代表）に提供し宇和島での展覧会に出展できないかを相談。2024 年度の障害者施設展覧会に参加する方向で検討する。

7 令和 5 年 11 月 30 日 河田淳評議員に面談の機会を得る

日本非常食推進機構 古高賢治理事長をご紹介

8 令和 5 年 12 月 6 日（水）13 時 ZOOM 打ち合わせ

財団の動き～SDGS 教育体験講座の仕組みができないか、検討したい
相談先：日本非常食推進機構 古谷 賢治理事長
エリア：杉並並びに新横浜

9 SDGS 教育体験講座の検討

相談先：7 & I 伊藤研修センター事務局
概要

- ① 7 & I の備蓄放出食料のうち、アルファ米、缶詰類等の提供を受ける。
 - 放出月日に合わせた事業として成り立つのか
 - 代案：食材を日本非常食推進機構からの提供
- ②伊藤研修センター事務局・社員食堂スタッフとの打ち合わせ
 - 社員食堂で備蓄放出食料をリメイクしたメニュー「もったいない食堂」ができないか
2025 年度、研修センター備蓄(200 名程度)の食材が使用できるので実験はできる。
 - 実験すること：生徒さん リメイク弁当づくり、または、詰め合わせ

10 令和5年12月8日 WEB会議拝聴

2023年度助成先 彩の子ネットワーク（関 昌美代表）子育てケア等の活動報告

11 令和6年1月27日 電話にて

シメサイ実行委員会（菅原 太代表）

2024年度は5月31日 前夜祭 6月1日、2日 本祭 と報告あり

12 令和6年2月11日 電話にて

2023年度助成先 三陸&東海防災フォーラム伝

① 7月14日 仙台

② 8月11日 東京 二つの防災講演・イベントのご案内あり

13 令和6年2月12日 出席

地球対話ラボの気仙沼プロジェクト（インドネシア実習生が気仙沼の一市民として暮らす）報告会
於：こくみん共済 COOP ホール（新宿）

14 令和6年2月21日 訪問

樫原節男代表（東新会）に面会す。

広島県ブランドショップTAU（銀座1丁目）で、庄原市の産業市を開催中。

15 令和6年2月23日 鑑賞

音まち計画主宰の足立区の高齢者向け介護予防学習劇「こもラジ！」を鑑賞（当財団助成）

於：梅田地域学習センター

16 令和6年2月24日 資料送付

ワンスマイルファンデーションの了解を得て、同法人資料を音まち計画宛て送付

17 令和6年3月7日 参加

アクションポート横浜（高城芳之代表）横浜アクションアワード選定会に参加。

神奈川地域の133団体、学生1000名の参加を得て、優秀な学生ボランティア5団体を顕正。

於：横浜市庁舎1F

18 令和6年3月29日 訪問

日本非常食推進機構の古高賢治代表が伊藤研修センターの高木所長訪問

横浜方面の食品ロス状況を説明した上に、

備蓄放出食料をリメイクしたメニューづくり等に協力の要請

19 令和6年4月8日 電話

NPO ピボットフット（桑田健秀代表）大田区の食品ロス、防災食の普及

並びにリメイク弁当の需要等について会議

20 令和6年4月18日 面会

NPO ゆめ希望（加藤完二代表・横手市）横手市の冬スポーツ事情を拝聴

21 令和6年4月27日 打ち合わせ

日本非常食推進機構スタッフと打ち合わせ

対象団体：認定 NPO びーのびーの（奥山千鶴子代表）の原美紀事務局長に打診する。

①子ども食堂への食材、人件費

②備蓄品放出後の食材活用（リメイク弁当）

③伊藤研修センターの利用

22 令和6年5月1日 面会

エヌ・プレイス（井上尚子代表）に面会

①宇和島 SDGs 社会教育事業団（霜村一郎代表）の画材・ヒオウギ貝の調達の約束ができ、制作チームを組成するところ。宇和島での展覧会に出展できるとのこと。

②伊藤研修センターの職場体験研修について 成城学園小の研修の継続について

23 令和6年5月18日 訪問

つちうら駄菓子屋楽校（石原之壽代表）

平和学習のための音楽劇ヒロシマについて打ち合わせ

24 令和6年5月31日 電話あり

①シメサイ実行委員会より 31 日前夜祭、翌日本祭

②鹿野の風 4月1日～5月31日 2か月の里山オープンガーデン終了電話報告あり。

25 令和6年6月26日 表敬訪問

シメサイ実行委員会の菅原太代表、高村スタッフからの事業報告あり。

既存地で継続するか（行政の支援が限定される）、地域を考えて実施するのか。

26 令和6年7月5日 打ち合わせ

SAネット（生重幸恵代表）伊藤研修センターでの職場体験事業（今年度の見通し）について報告を受ける

27 令和6年7月13日 打ち合わせ

NPO SF（朝枝晴美代表）スポーツ健康情報発信事業

①スギナミの事業進展について・・・アプリの情報掲載は順調

②2, 3年続くスポーツ事業の掲載について・・・2, 3年続く事業の新たなアプリ開発はしない

28 令和6年7月27日 鑑賞

つちうら駄菓子屋楽校の音楽劇ヒロシマの鑑賞に伺う。 於：土浦市亀城プラザ

29 令和6年8月4日 参加

西荻てつがく対話の会（種岡祐子代表）

①映画鑑賞「僕たちの哲学教室」

②哲学トーク対話

於：まちなかコミュニティー 西荻南

30 令和6年8月12日 当財団の助成申請書の審査（8月12日～20日 73件 1回目終了）

①8月23日 審査会実施 中曽根理事、吉田理事、小池評議員並びに事務局スタッフ4人

②申請先の団体分類・・・任意団体32、 NPO 法人25、 1社15 その他1 合計73団体

特徴：今後の団体活動の成長を期待して、任意団体の採用が目立つ

31 令和6年9月13日 ZOOM

つくば少年少女スポーツ障害予防研究会（SKIP）の公開授業

「少年少女の食事プラン」 麻見直美先生（筑波大学 当法人理事）

「親としてのサポート方法と具体例」 岡本嘉一先生（東北大）

32 令和6年9月16日～19日

9月23日 当財団理事会並びに監事会（書面決議）実施のため、理事の皆様は資料説明に動く

16日 新谷大輔理事（西荻 BASE/一時帰国中）17日 麻見直美理事（筑波大）

18日 斎藤善之理事（東北学院大）19日 松田道雄理事（長野・豪雨で中止）

5 2024 年度の予定

年月日		行事
2024 年	11 月 8 日	理事会（書面決議） （決議事項） 1. 事業報告・決算書承認の件 2. 評議員会招集の件
	11 月 23 日	評議員会（対面・W e b 会議予定） （報告事項） 1. 事業報告の内容報告の件 2. 事業収支予算書・事業計画書の内容報告の件 （決議事項） 1. 決算書承認の件 2. 評議員選任の件 3. 理事選任の件 4. 監事選任の件 5. 議事録署名人選出の件
	11 月 23 日	理事会（対面・W e b 会議予定） （決議事項） 1. 理事長選定の件 2. 選考委員および委員長選出の件
2025 年	1,2,3 月	助成先との交流会（開催予定）
	6 月 10 日～7 月 31 日	助成団体応募期間
	8 月下旬	選考委員会
	9 月 23 日	理事会（開催予定） （決議事項） 1. 事業計画書、収支予算書承認の件
	11 月上旬	理事会（書面決議） （決議事項） 1. 事業報告・決算書承認の件 2. 評議員会招集の件
	11 月 23 日	評議員会（開催予定） （報告事項） 1. 事業報告の内容報告の件 2. 事業収支予算書・事業計画書の内容報告の件 （決議事項） 1. 決算書承認の件 2. 議事録署名人選出の件

以上